

東北地方太平洋沖地震

「中越大震災ネットワークおぢや」先遣隊第1部隊活動経過報告

○派遣期間 平成23年3月11日～平成23年3月12日

○活動の主旨

会員自治体である茨城県日立市の被災状況等の確認等。

○メンバー

新潟県小千谷市総務課 防災係 中野係長、大平主査、運転手2名 計4名

○経過

≪3月11日≫

20時30分 公用車にて小千谷市出発

22時15分 月夜野IC着(高速道路の通行は、本来、公安の証明・NEXCOの証明が必要)

23時40分 太田藪塚IC降りる

≪3月12日≫

00時08分 国道50号を西へ(各所で停電始まる)

※ 途中、国道6号を北上で大渋滞、東海村通過に4時間を要す。

07時00分 日立市消防本部の車両により、誘導依頼。

07時28分 日立市災害対策本部(消防本部庁舎)に到着

07時35分 被害概要の説明を受ける。

- ・避難箇所60か所、避難者12,000人
- ・停電、断水、断ガス
- ・水、毛布、食料が不足
- ・下水道は自然流化で使用可能
- ・救援物資は、消防本部に集約
- ・負傷者60名程度(津波による人的被害はない)
- ・同報系無線とその個別受信機、さらに広報車で広報
- ・緊急危険度判定
- ・自衛隊要請給水でとの要請をしたが、何をしてくれるかは不明

08時10分 日立市消防本部(災害対策本部)出発

小千谷市と防災協定を締結している東京都杉並区が防災協定を締結している
福島県南相馬市へ被害状況等の確認に向かう。

12時00分 南相馬市役所到着

12時05分 被害概要の説明を受ける

- ・避難者6,012人(小高区 2,269人、鹿島区 1,840人、原町区 1,903人)
- ・救援物資はサンライフ前駐車場で受付中
- ・簡易トイレ29基設置、食糧、水、毛布、暖房が特に不足している。
- ・ネットワークおぢやでは被害認定等で人的支援が可能な旨を話して出る。

12時15分 南相馬市出発(途中、各所の被害状況を調査しながら)。

宮城県内の被災地の状況を確認するため宮城県名取市へ向かう。

- 15時20分 名取市役所到着
・避難者約10,000人
・ライフラインは全て機能していない。
・水、食糧が不足する。
- 15時25分 名取市役所出発
- 16時12分 東北自動車道 ~ 磐越自動車道 ~ 北陸自動車道 ~ 関越自動車道
経由で帰庁する。
- 20時00分 小千谷市役所到着

○記録写真



出発前の先遣隊



日立市災害対策本部



日立港での車両炎上による煙
(津波被害により)



南相馬市役所庁舎



南相馬市津波被害状況 1



南相馬市津波被害状況 2



宮城県名取市役所

東北地方太平洋沖地震

「中越大震災ネットワークおぢや」先遣隊第2部隊活動経過報告

○期間 平成23年3月14日～平成23年3月16日

○活動の主旨

- ・第1部隊が活動できなかった、宮城県、岩手県の被災状況の確認。
- ・宮城県、岩手県の対策本部へ行きネットワークおぢやのネットワーク力を活かした自治体職員応援派遣と被害認定調査及び被災証明書業務の重要性について伝える。

○メンバー

富士常葉大学 重川教授 田中教授

新潟県柏崎市 税務課 家屋係長 関矢氏

新潟県小千谷市総務課 防災係 渡辺参事、田辺主査、運転手2名 計7名

○経過

≪3月14日≫

9時15分 小千谷市役所出発

10時30分 阿賀野川 PA 通過 検問あり 許可証があるため難なく通過

10時40分 津川 IC 通過 検問あり ”

11時00分 磐梯 SA 休憩 ライフライン問題なし 軽油給油（10ℓ制限）

11時45分 磐梯熱海付近 地震の段差による転倒車発見 新潟市ガス水道局応援車と思われる

（車内で昼食）

12時10分 福島松川 PA 通過 GSOK 道路段差多い

12時30分 国見 PA 付近 放射線数値0 放射線危険ゾーンは抜けたと思われる

12時35分 国見 PA 休憩 自動販売機作動 トイレ OK 自衛隊車多数停車

軽油が不足のため給油できず

12時50分 白石市通過 市内停電中 AU 携帯圏外 ドコモ2本

12時55分 宮城県へ

13時10分 菅生 SA 停電のため給油できず

13時15分 仙台南 IC 付近 AU 通信可能

- 1 3 時 2 0 分 仙台宮城 IC 下車
- 1 3 時 4 0 分 宮城県庁着 11 階 1107 会議室、政府現地対策本部へ（県対策本部は 2 階）
しばらく対応を視察
- 1 5 時 2 0 分 ネットワークおぢやの活動を説明するタイミングがないため、名取市の現場視察へ
- 1 6 時 0 0 分 名取市閑上（ゆりあげ）地区（津波被害甚大地区）の視察 ほとんどの建物は流されまさに壊滅状態
被害なく建っている建物もぼつぼつと見受けられる程度
- 1 7 時 0 0 分 避難所名取北高校へ 先生が避難所を運営している 物資等は比較的足りている
避難者 190 名程度
- 1 7 時 1 5 分 避難所名取市立増田中学校へ 先生中心に避難所運営 名取市職員 2 名配置
避難者 150 名程度
- 1 7 時 3 0 分 避難所名取市立第 1 中学校へ 閑上地区からの避難者が多い 市職員数名で対応
避難者 500 名程度 各教室を使用
- 1 8 時 0 0 分 名取市役所災害対策本部へ 総務部長と話ができる。安否確認システム、被害認定調査、り災証明書の話をする。
- 1 9 時 0 0 分 宮城県庁へ 内閣府森氏（ネットワークおぢや研修講師）不在で県との繋ぎ役がないため青葉区役所へ
- 1 9 時 4 0 分 仙台市災害対策本部へ（青葉区役所へ）
政令市指定都市協定で応援にきている、神戸市職員の計らいで市長に会え、認定調査の実施方法等の考え方について確認する。
- 2 0 時 3 0 分 税務担当 3 名と建設担当にり災証明書、被害認定調査の説明
担当は、調査から発行までの業務の大変さを痛感し、ネットワークおぢやの協力を得たい意向を示す（担当者レベル）
- 2 2 時 5 0 分 終了
- 2 3 時 0 0 分 岩手県（宿泊先へ）出発

《 3 月 1 5 日 》

- 0 時 4 0 分 岩手県前沢 SA 給油満タン OK おにぎりサービスあり ライフライン OK
- 1 時 1 0 分 北上江釣子 IC
- 1 時 3 0 分 岩手県北上市内宿泊先到着 宿泊先はライフライン OK
- 8 時 3 0 分 宿泊先出発（釜石市へ）

10時20分 現在地 岩手県釜石市にはいり283号線走行 携帯圏外になりやすい

※高速道や一般道のいたるところで検問があるが、緊急車両表示のおかげでほとんど顔パス状態で通過できている。よってかなりのところまで進入できる。

10時45分 釜石市街地にはいる。市内視察後、災害対策本部（シープラザ釜石内）へ
総務部長と話ができる。物資は発電機、簡易トイレが不足。
ネットワークおぢやとして協力したい意向を伝える

11時30分 海岸沿いの道路が走行可能なため、釜石市鶴住居・根浜海岸、大槌町を視察。
どこも爆弾が投下されたかのように全てがめちゃくちゃ。
大槌町では住民（おじいちゃん）に話が聞けた。津波が襲ってくる状況が聞けた。
町長は行方がわかっていない。職員もほとんどが行方不明
とにかくすさまじい光景に胸が痛む・・・

12時30分 岩手県庁へむけて現地を出発

14時30分 国道106号線を走行 携帯は圏外区域多数

15時00分 盛岡市内に入る

15時30分 岩手県庁着→政府現地対策本部へ→岩手県対策本部へ
政府現地対策本部に、釜石市で発電機、簡易トイレが不足していることを伝える。
内閣官房事務官より岩手県対策本部まで案内してもらう。
岩手県危機管理監にネットワークおぢやとして自治体応援（特に被害認定調査）
について要請してもらいたい旨を伝える。
岩手県対策本部会議を視察

18時00分 岩手県庁を後にし、北上市の宿泊先へ

19時15分 宿泊先到着

16日については、福島原発の爆発事故等の影響により宮城県庁・仙台市に入ることを諦め、宿から直接小千谷市に帰ることを決断する。

《3月16日》

8時30分 宿泊先出発 山形まわりで小千谷へ

10時00分 東北道村田JCT通過
原発の影響が少ないと判断し磐越道で帰庁する。

- 14時30分 小千谷市役所到着
14時50分 小千谷市長（ネットワークおぢや副会長）へ報告
16時00分 解散

○被災地視察先

宮城県名取市、岩手県釜石市・大槌町

○訪問自治体

名取市災害対策本部、宮城県庁現地政府災害対策本部、仙台市災害対策本部、釜石市災害対策本部、岩手県庁災害対策本部及び政府現地対策本部

○所見

- ・宮城県、岩手県の沿岸自治体の被害が広範囲にわたり壊滅的な状況であり、多くの被災地では自治体の機能を失っている。また、依然行方不明者が多数おり、県・市ともその捜索と多数の遺体の安置及び処理が優先されている状況であり被害認定業務及びり災証明書業務に手が回らない状況である。
- ・ガソリン等の燃料が不足しており、被災地での活動がままならないことが予想されることから、現時点ではネットワークおぢやとしての活動は難しい状況である。
- ・仙台市は若林区と宮城野区は津波の被害が甚大であったがそれ以外は大きな被害がなかったこと、また、本庁では比較的余裕があるということもあり、被害認定業務及びり災証明書業務に取り掛かろうとしており、この業務の必要性等はある程度認識していた。しかし、ノウハウがないため、今後も電話等で指導を継続してもらうとともに、ネットワークおぢやの派遣についても検討したい旨の話があった。

○記録写真



宮城県名取市の津波被害状況



岩手県大槌町の津波被害の様子 1



岩手県大槌町の津波被害の様子 2